

オオアゼスゲ

学名 *Carex thunbergii* Steud. var. *appendiculata* (Trautv.) Ohwi

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

泥炭湿原を生育地とするが、生育地、個体数ともに極めて少なく、草地開発で消滅した生育地が多い。現存している生育地も、植生遷移の進行に伴って生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州(山地),九州(大分)
世界的分布	樺太,千島,カムチャッカ,アムール,ウスリー,朝鮮半島(北部),中国(東北部)
生育環境	低山地や山地の泥炭湿原。
現状	火山性高原での生育地は、ほとんど消滅している。
備考	叢生して株が発達し、顕著な谷地坊主をつくる。北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、本県は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。